

鎌倉 パートナーズ



第53号 平成21年(2009年)12月発行(季刊)
鎌倉市市民活動センター広報紙

目 次

| | | | |
|-------------------|-----|---------------|-----|
| NPO 支援かまくらファンド審査会 | P 2 | 情報コーナー・イベント紹介 | P 6 |
| 登録団体見て歩き | P 3 | 情報コーナー・相談Q&A | P 7 |
| ミニコラム・研修部会セミナー | P 4 | センターからのお知らせ | P 8 |
| 相談部会セミナー・センター関係行事 | P 5 | | |



(JR鎌倉駅地下道ギャラリー展)

平成21年度かまくらファンド審査会 報告

11月3日、透きとおるような青空の文化の日、恒例の「かまくらファンド審査会」がたまなわ交流センターで行われました。

「かまくらファンド」とは鎌倉市市民活動センター運営会議が、市民活動団体（及び個人）への支援活動のひとつとして資金援助をするためのファンドです。審査会はその団体を決めるためのものです。

ちなみに、この「かまくらファンド」の資金は、私たち財政部会や事務局が寄付を募ったり、バザー活動、広告募集などをしたりして集めたお金。いわば汗と涙のこもったお金で、鎌倉のNPO活動活性化への願いのこもったものです。

ですから、審査は厳重かつ公平正大で、応募者全員の目の前で公開で行なわれ、点数も公表されます。

今年の応募団体は以下の5団体でした。

★鎌倉ガーディアンズ

市のイベントなど催し物の警備活動

★青空自主保育でんでんむし

山や海を歩き、自然と触れ合うことを中心にした保育活動

★よむ会・きく会・あそぶ会 tekuteku

親子向けの読み聞かせを中心とした活動。オリジナルの絵本も作成

★玉縄歴史の会

玉縄の歴史の勉強会、古文書の解説、現在玉縄の観光マップを作成中

★游 風

イベント会場でごみを出さないことを目的にリユース食器の貸付を行う

プレゼンでは、皆さんプロジェクターや掲示板を使って、それぞれの活動への熱意、思いのたけについて熱弁をふるわれました。審査員の方も甲乙つけ難く困ったことでしょう。今年の審査員は次の方々でした。

小川研一さん（鎌倉市社会福祉協議会常務理事）

梅澤政治さん（鎌倉市役所市民経済部次長）

山本高大さん（NPO法人セカンドブックアーチ代表理事）

奥野晃さん（鎌倉市市民活動センター運営会議理事）

渡邊公子さん（鎌倉市市民活動センター事務局長）



私たちの総予算は20万円でした。1団体当たり5万円で4団体に助成というものでしたから、1団体には助成できないことになります。

審査会とはいえ、互いに思いやり励まし合い、なごやかな雰囲気うちに終了しましたが、途中傍聴の方々とアドリブの質疑応答があり、また審査員から絵本の無料提供の申し出があって喜び合うという場面もありました。

何もかも終って帰る頃は、つるべ落としの秋の日が、西の空を赤く染めていました。スタッフの皆さん、ご苦労様でした。（財政部会 平井嵩 記）



審査の様子

「六人会」様、「朋ボランティアグループ」様
「バルーンアート」中村様よりファンドへの
寄付をいただきました。
ありがとうございます。

登録団体見て歩き

一よむ会・きく会・あそぶ会—teku teku

「teku teku」は、未就園児の親子向けの読み聞かせ会をしているグループです。7年間、あそびの家『Plowland』として由比ヶ浜に一軒家を借りて、読み聞かせやあそび会を続けてきたのですが、都合により拠点となっていた家が使えなくなり、新たに「一よむ会・きく会・あそぶ会—teku teku」として4月からスタートしました。

今は、主に鎌倉市内の子ども会館を回って、未就園児の親子向けに絵本の読み聞かせ会を行っています。

読み聞かせというと、おとなしく話を聞いていなければならぬイメージがありますが、「teku teku」では、絵本を通して子どもたちとコミュニケーションをとることを大切にしているようです。ですから、とつてもにぎやかなお話し会になり、絵本の世界で遊びに発展することもあります。

絵本をたくさん楽しんだ後は、お絵かきタイムです。子どもたちはクレヨンを手し、真っ白な模造紙に思い思いの絵をいっぱい描いてくれます。あるお母さんが、「こんなに楽しそうにお絵かきしている姿を初めて見ました！」と言っていました。

子どもたちは、いっぱい受けた感性を何かで表現したくなります。「各家庭の中でも、描きたいときにいつでも描ける場所をつくっておくといいかも知れませんね」とは、代表の吉田さんの弁です。

「teku teku」は、他に鎌倉や大船のNPOセンターで、絵本を持ち寄ったブックトークや、朗読の勉強会もしています。『Plowland』の頃から遊びにきてくれているお母さんたちも参加しています。(M.H)

連絡先：TEL/FAX 045-825-9723 (代表：吉田)

ブログ：<http://yomukai-tekuteku.seesaa.net/>



鎌倉の自然を守る連合会

鎌倉広町の森・豊かな緑・輝く命

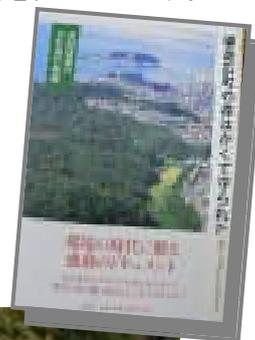
貴重な里山を守り未来に伝えよう

「鎌倉の自然を守る連合会」は広町の森の周辺の8自治会・町内会により1984年に設立され、25年にわたり、広町の森を開発から守る運動を展開してきました。

2002年に事業者が開発を断念し、「都市林」として保全が決定、その後鎌倉市が策定した「基本構想・基本計画・基本設計」に基づき、地域住民として広町の森を都市林公園として後世に残していくための活動を行っています。

2008年12月に運動史「鎌倉広町の森はかくて守られた」を発行。

5大紙に書評掲載され、連合会内自会でも1000冊を突破しました。国交省や環境省、県や市、市民団体にも寄贈し、読者より続々と感想が寄せられています。



10月31日(土) 広町の森で『森の中で楽しいドングリ遊び』と称して、近隣の子供会に働きかけ、自然観察などの環境教育の場を提供していく活動を実施しました。

当日は秋晴れに恵まれ、74名(子供42名、大人32名)の方がドングリを拾いながら森の中を1時間散策し、ドングリでネックレスやブローチ、コマなどを作ったり、竹とんぼを飛ばしたり、森の素材を使って遊びました。最後はみんなで『どんぐりころころ』を合唱し、参加された方から「親子共々、心に残る一日となりました」との喜びとお礼の感想を頂いたそうです。また、生物、歴史等に精通した広町ガイドチームを養成し、どこにでも皆様をご案内できるようにしたいと勉強中です。今後の活動に期待してください。(H.F) HP：<http://hiromachi.sakura.ne.jp/>
連絡先：TEL/FAX 0467-31-3074 (代表：奥田)

知ることの力

こどもの頃ヒトと動物の違いについて、ヒトは言葉を持つので幾世代幾万人の経験をわがことのように知るが、サルにはそれが出来ないと書かれたものを見て、納得した。テレビに映るサルは、年寄りが石で殻を割って木の実を食べるのがうらやましく、色々やってみるが失敗する。親がちょっと教えてやればよいと思うが、単語の持ち合わせが乏しくてそれが出来ない。

これは知識の話だが、最近は一とが互いを知ることが、住み心地に大きな違いを生むことを再認識している。よい例がバスである。混み合ったバスでひとにぶつかられたり足を踏まれたりすれば思わずムツとする。乗り合わせたのが赤の他人だからで、足を踏んだのが親子や知人であればそうはならない。外国のバスツアーなどでも初日の雰囲気は冷たい。始めは目礼するくらいだが、見物して歩くうちに会話が始まる。夕食などの機会に自己紹介したりして、二日目は大体皆さんのことがわかる。全員と話さなくても、話した方からの又聞きなどで、殆どの人とまんざら他人ではなくなる。車中の雰囲気も暖かいし、寝過ごして集合時間に遅れた人にもなごやかに声がかかる。すでにコミュニティが成立している。

関東大震災に遭遇して、泣き叫ぶ家族をつれてお寺に避難したヨーロッパ人の経験だが、集った人達が大きな余震の続く中、地面に座って後から来た人達に会釈を交わしながら場所を譲っているのを見て、これはどういう人種かと思ったという。全員が知り合いであった筈もないが、同じ目にあったものはまんざら他人でもないという意識が、すぐ新しいコミュニティを作らせたのではないか。『袖振り合うも他生の縁』という文化は最近まで強かったのである。

近所の人を多少でも知っており、自分も相手に知られていることがコミュニティをつなぐ糸であろう。多くを知るにつれ、相手の気儘や不注意にも許したり譲ったりできると同時に、相手も迷惑をかけまいと意識して、よそ者にはうるさく見える京都のつきあいや、昔の東京では江戸しぐさといわれたような文化が発達する。そこまでいなくても、鎌倉のコミュニティの文化もまた大事に育てたいものではないだろうか。

(運営会議 前理事長 橋爪幸臣)

研修部会セミナー「タメになるチラシ作成講座」を開催して

日時：平成21年9月26日(土)

場所：鎌倉市役所第3分庁舎 講堂

講師：NPO法人 男女共同参画おた理事長 牟田 静香氏



「行列ができる講座の作り方」で有名なカリスマ講師牟田静香先生をお迎えして、チラシ作成のコツをたくさん教わりました。評判どおり牟田先生はテンポよく、歯切れよく、とてもわかりやすくお話してくださいました。

「人が集まらなかった講座」の言いわけはいろいろありますが、要するに企画力・広報宣伝の力不足ということだそうです。お天気がよくても悪くても、魅力ある講座には人が集まるとのこと。先生は、定員割れをしていた過去の講座を分析・研究し、その後は毎回申込者が殺到する講座を企画し、現在は全国の自治体から講演依頼があるそうです。では、講座に人を集めるポイントとは、

①対象者(ターゲット)を徹底的に絞る

②対象者の心に響く、ゴールの見えるタイトルをつける！

そして、**担当者の熱意と努力**。これらがもっとも大切なこと。

ですから、「企画に時間をかけ、タイトルにこだわる」ということがとても重要だということがわかりました。今まで自分たちが講座やフォーラムを開催するときに、いかに努力が少なく、タイトルを簡単につけていたかを反省させられました。これからは定員超えの講座を目指し、本屋さんに足を運び積極的に情報収集をしたいと思います。

セミナーに参加してくださった皆さんも、多くのヒントを得て今後の活動に役立てていただけるものと思います。かながわ県民活動サポートセンターとの共催で、より充実したセミナーを開催することができました。

(研修部会 佐藤千津 記)

相談部会セミナー開催

昨年度に引き続き、2回目の相談部会主催のNPOセミナーが、10月26日(月)に大船センターの会議室で行われました。

セミナーのテーマは、3つに分かれています。

午前の部は「NPO法人の会計と税務」と題して、相談部会リーダーの吉野公認会計士により、収益事業を行うNPO法人を対象とした収益事業の区分経理の方法、法人税や消費税の税務処理の方法、収支計算書の作成方法などについてやさしくわかりやすい解説が行われました。

午後の部は、まず「労働保険・社会保険のイロハ」と題して、部会員の石川社会保険労務士により、NPO法人でよく問題となる有償ボランティアと労働者の区分、あるいは労働保険や社会保険の適用義務について、イロハからのわかりやすい解説が行われました。

引き続き、「一般社団法人の設立と運営について」と題して、小林相談員より昨年12月1日に施行された一般社団法人法に基づく一般社団法人の性格、NPO法人との比較とともにその設立手続きについて説明が行われました。とくに設立手続きが簡単であること、その後の報告等の義務もないなど、任意団体から小規模ながら法人格を取得したい市民活動団体には、お勧めの法人ではないかとのことでした。

受講された方は、利用登録団体のほか新しく活動を始めたいということで勉強に来られた方を含め、延べ15名でしたが、皆さん熱心にメモを取られ、講師との間に活発な質疑応答が交わされました。

ただ、このセミナーで得た知識だけでは、自分の団体に合うようにすることはなかなか難しいテーマですから、具体化にあたっては、相談部会が例月行っている月4回の無料相談日(第1~第4月曜日)を是非活用していただくようお願いいたします。(相談部会 小林茂男 記)



JR鎌倉駅 地下道 ギャラリー展

11月26日
~
12月2日

NPOセンターに登録している団体が活動の様子をパネルで紹介する「JR鎌倉駅地下道ギャラリーパネル展」が開催されました。

携帯電話のQRコードをつけるなど、今年のパネルも様々な趣向をこらした内容となりました。ともに飾られた展示物も華やかにパネル展を演出し、足をとめ熱心に見ていく人もいました。展示作業にご協力いただいた団体の皆様ありがとうございました。(板垣裕見子 記)

<参加団体>

☆グループホーム華花 ☆かまくら子育て支援グループ 懇談会 ☆鎌倉景観研究会 ☆なかよし会 ☆山崎・谷戸の会 ☆鎌人いち場 ☆男性ボラ・ヤローズ ☆湘南鎌倉生涯現役の会 ☆NPOはじめまして、美術館。☆アムネスティ・インターナショナル鎌倉グループ ☆朋ボランティアグループ ☆図書館とともだち・鎌倉 ☆湘南失語症者を支援する会 ☆游風 ☆鎌倉を美しくする会 ☆北鎌倉の景観を後世に伝える基金 ☆玉縄城址まちづくり会議 ☆青空自主保育でんでんむし ☆全日本シルバースタイル社交ダンス普及協会 ☆ヒッポファミリークラブ大船・鎌倉



第2回「鎌人いち場」が、10月18日(日)、鎌倉由比ガ浜の海浜公園で開催されました。今回も200店以上の出店と、8,000人を超える来場者があり、大変盛況でした。

参加者主体を目指す「鎌人いち場」では、今回、主催者がゾーニングのみ行い、それぞれの出店者が自分たちで出店場所を決めるという新しい試みがなされました。大きなトラブルもなく、周囲と話し合っ、魅力的な「いち場」が出来上がっていました。

そして飲食ブースには地元の良店が並び大人気！次回は5月30日開催予定です。(柴田かおり 記)



運営会議は、NPOセンターのPRをしながら「玉こんにやく」を販売しました。



イベント情報

冬休み親子映画会

☆ファーザースクリスマス ☆クリスマスクリスマス
 ☆ほんとうのオバケみたい(レイカのともだちづくり)
 ☆くまのプーさん(プーさんとはちみつ)
 開催日時:平成21年12月23日(水)13:30~15:30
 会場:鎌倉生涯学習センター 第6集会室
 参加費:入場無料
 主催:りんどう
 後援:鎌倉市教育委員会
 連絡先:0467-45-2880(石川) 0467-45-6265(宮内)

60歳からの社交ダンス

入門コース無料体験講習会。ベテランの講師が最初の
 一歩から指導します。
 開催日時:平成22年1月17日(日)、2月14日(日)
 13:30~15:30
 会場:深沢学習センター 3階 ホール
 主催:NPO法人全日本シルバー社交ダンス普及協会
 問合せ先:0467-61-3021(山本)

玉縄歴史アカデミア連続セミナー 第5回「玉縄城の遺構を読む」

「玉縄城址大手門(清泉女学院裏門)周辺発掘の話」
 講師:小林康幸氏(鎌倉市教育委員会文化財課)
 <「七曲坂のミドリの保全」をみんなで語り合う会>
 開催日時:平成22年1月16日(土)13:30~16:40
 会場:玉縄学習センター 第4集会室
 参加費:500円(資料代を含む)
 主催:玉縄城址まちづくり会議
 申込・問合せ:TEL/FAX 0467-45-7411(事務局)
 E-mail artbank21@nifty.com (2日前締切)

若い人のための生活基礎講習会 —家庭で出来る冬物の洗濯—

若い家庭の清々しい生活をつくるための講習会です
 どなたでもご自由に参加ください
 開催日時:平成22年2月26日(金)10:00~12:00
 会場:鎌倉友の会(植木233-4)
 参加費:800円
 託児:要予約(託児費200円)
 主催:鎌倉友の会
 申込先:鎌倉友の家 TEL/FAX 0467-43-0144
 E-mail kamatomo16@yahoo.co.jp

かまくら菜食シンポジウム

開催日時:平成22年1月23日(土)10:00~17:00
 会場:建長寺(北鎌倉)
 Talk:高井正俊(建長寺宗務総長)
 藤井まり、林 愛、辻信一
 参加料:3000円(けんちん汁・精進ランチ代を含む)
 ※別途拝観料300円が必要
 主催:鎌倉ベジカルチャーmap
 後援:鎌倉市、鎌倉商工会議所
 協力:JAさがみ
 申し込み:前売り券受付中(FAXかHPからお申し込みください)
 (定員150名) FAX 0467-25-2668 <http://vegeculture.com>
 ※名前、住所、FAX番号、申込人数を記入のこと

クール百音&寺沢希美チャリティコンサート

—地域活性化と交通事故撲滅の願いを込めて—
 北鎌倉湧水ネットワーク設立10周年記念特別企画
 開催日時:平成22年3月7日(日)14:00~16:00
 会場:円覚寺(北鎌倉)
 プログラム:読経 朝比奈恵温円覚寺教学部長
 コンサート 第1部 寺沢希美(ヴァイオリン)
 第2部 クール百音(合唱)
 入場料:2500円
 主催:北鎌倉湧水ネットワーク
 後援:鎌倉市市民活動センター運営会議 他
 問合せ先:0467-41-1817(野口)

パネルの作り方講座

NPOセンターの登録団体を対象にした、「パネルの作り方講座」を開催します。
 「かまくら市民活動の日フェスティバル」にパネルを展示しようと計画している団体の皆さん、必修です!!
 ※フェスティバル実行委員会では、「入場者の投票による良いパネルの表彰」を検討しているようです。

開催日:平成22年2月中旬
 会場:NPOセンター鎌倉
 講師:選任中
 主催:鎌倉市市民活動センター運営会議
 協力:フェスティバル実行委員会
 申込先:NPOセンター鎌倉 0467-60-4555

情報コーナー

助成金情報

例年どおり、秋以降多くの財団等が助成金募集を行っています。既に募集が締め切られたところも少なくありませんが、民間企業が社会貢献事業の一環として行っている助成活動などでは、かなり小規模の活動でも対象としている場合があります。**活動の下支えや事業の拡大を目指して、該当しそうな助成金の申請に、トライしてみませんか。**

広報部会では、最新の助成金情報をホームページに掲載しています。また、パンフレットを鎌倉、大船の両センターに掲出するほか、インターネットを使わない方のために助成財団の「ハンドブック」を、初めて申請する場合のために「手引書」を用意してありますのでご利用ください。

なお、助成金情報に関して、ご意見、ご要望等がありましたら、遠慮なくお寄せください。

今号発行日現在で募集中もしくは近く募集予定の助成金は、以下のとおりです。

ヤマト福祉財団：障がい者福祉活動（募集期限 12/31）

セブーンイレブンみどりの基金：環境市民活動、地域美化活動（緑化、清掃）（22年1/8）

神奈川子ども未来ファンド：子どもの成長支援（同1/8）

ハウジングアンドコミュニティ財団：市民主体の住まいとコミュニティづくり。（同1/15）

東京ガス環境おうえん基金：地域の環境保全、環境教育・意識啓発活動（同1/15）

NEDO 新エネルギー等非営利活動推進事業：（再掲、1/29）

中央ろうきん：「ひとづくり」、「まちづくり」、「くらしづくり」活動（1月予定）

モバイル・コミュニケーション・ファンド：「子どもを守る」活動（2/1～3/31）

社会貢献者表彰

当センター登録団体の「鎌倉市手をつなぐ育成会」が、社会貢献者表彰を受けました。日本財団の助成を受け社会貢献支援財団が社会貢献へ功績があった団体や個人を表彰するものです。「鎌倉市手をつなぐ育成会」は、鎌倉市に在住する知的障害をもつ人たちの「自立と社会参加への支援」を目指して長年にわたり活動している団体です。

ボランティア募集

☆朋ボランティアグループ☆

年末年始ボランティア募集

活動日：平日（12時～16時）

土日祝日（10時～13時半、13時半～17時）

場 所：福祉ショップ・朋

内 容：お店番、短時間の掃除、バザーの手伝い

問合せ：0467-22-0802（担当 齊田）

相談 Q&A

事務所賃貸借契約の名義人について

Q：NPO法人ですが、従来理事長個人名義で事務所の賃貸借契約を結んでおりましたが、この度契約期間が終了しますので契約を更新したいと思います。

この場合、賃借人の名義人はやはり法人のほうが良いのでしょうか。

A：会計や税務の処理をする場合に、substance over form ということが言われます。これは法律的な形式よりも経済的な実態に即して処理をするということです。

貴法人も従来は、形式的には個人が賃借人になっていますが、実際は法人が事務所として使用し、賃借料も法人の経費として処理していたということで、その処理自体は適切で何ら問題はありませぬ。

しかし更新に当たって格別の事情がないのであれば、法人名義で賃貸借契約を結ぶことが一般的だと思います。

NPOセンターからのお知らせ

新収図書のお知らせ

～NPOセンター鎌倉・大船～

◇「人が集まる！行列ができる！講座イベントの作り方」
著者：牟田静香 2009年1月

～NPOセンター鎌倉～

◇「奪われた七里ヶ浜」
著者：やまもとせつこ 2009年5月

◇「子どもたちに・ほほえみを」
発行：NTT出版株式会社 2009年7月

◇「市民活動に活かす助成金取得ガイド」
著者：飯田昌彦 2007年2月

◇「鎌倉広町の森はかくて守られた」
発行：鎌倉の自然を守る連合会 2008年12月

◇「伝えるコツ NPOの広報を考える15のヒント」
発行：NPO広報力向上委員会 2004年9月

◇「武士道新釈」
著者：佐藤敏彦 2009年8月

◇「孝経新釈」
著者：佐藤敏彦 2009年8月

新規登録団体の紹介

★鎌倉未来懇談会：未来を担う子どもたちをとりまく環境の中で、特に教育問題について考え、調査研究をする活動

★鎌倉ベジカルチャーmap：菜食に関する情報収集やベジカルチャーの普及を目指す活動。菜食シンポジウムを1月23日、建長寺において開催。

★稲村ヶ崎テレビ共同受信施設組合：TV放送の難視聴地域を調査し、難視聴の解消につとめる活動。

★ギャラリー・イン・ホスピタル：病院・診療所・介護施設への「富士山」の写真作品掲示活動。

★鎌倉トークシアター：市民のディベート（討議）能力を高めるための活動

★清雅会：清方愛好者の勉強会。美術作品を通して、環境問題にも取り組む。

★青空自主保育でんでんむし：鎌倉の豊かな自然の中で子どもを育てる活動。

第2回利用登録団体懇話会のお知らせ

平成21年度第2回利用登録団体懇話会を次のとおり開催いたします。お誘い合わせの上、ご参加ください。

★日時：平成22年1月23日（土） 15時～17時

★場所：NPOセンター大船

★内容：センター運営状況報告

映像による登録団体の活動紹介

意見交換

交流懇親会

※詳細は別紙「お知らせ」をご覧ください



NPOセンター大船会議室壁面利用

NPOセンター大船会議室の壁面を利用して、団体のPR展をしてみませんか。

活動の写真、活動発表などの展示にご利用ください。利用時は、運営協力費として次のとおりご協力ください。

☆両面1日使用：500円 ☆片面1日使用：250円

11月9～14日まで、「かまくらシニアネット交流会」



が発表展示会をされました。

平成21年12月1日現在 **利用登録団体数:370団体**

お願い 利用登録団体の登録内容(連絡先・代表者・活動内容等)が変更された場合は速やかにご連絡ください。

発行：鎌倉市市民活動センター

編集：特定非営利活動法人 鎌倉市市民活動センター運営会議

<http://www3.ocn.ne.jp/~npo-kama/>

NPOセンター鎌倉

〒248-0012 鎌倉市御成町 18-10

TEL: 0467-23-3000 内線 2655

TEL/FAX: 0467-60-4555(直通)

e-mail: npo@chive.ocn.ne.jp



NPOセンター大船

〒247-0061 鎌倉市台 1-2-25

(たまなわ交流センター 1階)

TEL/FAX: 0467-42-0345

e-mail: npo2@abelia.ocn.ne.jp